



## シー・ズーで気をつけたい病気は？

### ■シー・ズーの疾患統計

【表1】シー・ズーと犬全体の疾患別発症率

2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済契約に加入した0-10歳のシー・ズーは4,706頭で、犬全体の3.6%を占めていた。犬全体の発症率と比べて、シー・ズーの発症率が高い疾患は、18分類中11疾患あった。その中でも、特に高い疾患は、

**眼の疾患 2.5倍、**

**寄生虫症 1.7倍、**

**感染症 1.6倍**

**皮膚疾患 耳の疾患 1.5倍**

であった(表1)。

また、上記に加えて、男の子は泌尿器疾患、女の子は血液・免疫疾患の発症率が高かった(表2)。

※ 2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済制度に加入したどうぶつのうち、契約期間が1年間で、契約満了または死亡解約となった犬681,039頭(男の子364,423頭、犬の女の子316,616頭)を対象に調査。

※契約満了または死亡解約となった各個体の1年毎の契約について、その契約が開始した年齢毎に1契約=1頭とみなし、当該疾病について1回以上の請求があった犬の割合を発症率とした。

		シー・ズー (a)	犬全体(b)	(a/b)
頭数		24,706	681,039	
1	08. 眼の疾患	23.2%	9.3%	2.5
2	16. 寄生虫症	1.8%	1.1%	1.7
3	15. 感染症	1.6%	1.0%	1.6
4	12. 皮膚疾患	32.4%	22.1%	1.5
5	09. 耳の疾患	21.2%	14.6%	1.5
6	13. 血液・免疫疾患	0.5%	0.4%	1.3
7	05. 泌尿器疾患	7.6%	5.8%	1.3
8	01. 循環器疾患	5.7%	4.3%	1.3
9	04. 肝・胆道疾患	3.5%	3.0%	1.2
10	18. 腫瘍疾患	6.8%	6.3%	1.1
11	06. 生殖器系疾患	2.0%	1.9%	1.1
12	03. 消化器疾患	13.2%	12.7%	1.0
13	17. 損傷	3.8%	4.0%	1.0
14	14. 内分泌疾患	1.4%	1.6%	0.9
15	02. 呼吸器疾患	1.9%	2.2%	0.9
16	07. 神経疾患	1.1%	1.9%	0.6
17	11. 筋骨格系疾患	2.8%	5.8%	0.5
18	10. 歯・口腔疾患	0.9%	2.1%	0.4

【表2】シー・ズーと犬全体の男女別疾患別発症率

		シー・ズー (男)(a)	犬 (男)(b)	(a/b)			シー・ズー (女)(a)	犬 (女)(b)	(a/b)
頭数		13,295	364,423		頭数		11,411	316,616	
1	08. 眼の疾患	23.7%	9.5%	2.5	1	08. 眼の疾患	22.6%	9.1%	2.5
2	16. 寄生虫症	2.1%	1.1%	1.8	2	15. 感染症	1.8%	1.1%	1.7
3	15. 感染症	1.5%	0.9%	1.6	3	16. 寄生虫症	1.5%	1.0%	1.5
4	09. 耳の疾患	22.0%	14.7%	1.5	4	12. 皮膚疾患	32.4%	22.0%	1.5
5	12. 皮膚疾患	32.3%	22.2%	1.5	5	13. 血液・免疫疾患	0.6%	0.4%	1.4
6	05. 泌尿器疾患	7.1%	4.9%	1.5	6	09. 耳の疾患	20.4%	14.4%	1.4

シー・ズー は、  
**眼の疾患、寄生虫症、感染症**  
**皮膚疾患、耳の疾患**  
に要注意！

